

北海道平取町における基本計画の概要

計画のポイント

平取町は、狭隘な山間地で町面積74,309haのうち、山林が大半を占めており（82.1%）、農地が6.6%である。基幹産業は農業であり、令和元年の農業産出額は53.3億円となっており、施設野菜のトマトを中心に米、黒毛和牛などを生産している。こうした地元の農産物を特色ある製品などに加工する食料品製造業も営まれており、町内製造業の全体付加価値額の16%となっており、農業に関連する製造業などに従事する者も多い。

また、本町を横断する国道275号や高規格自動車道日高自動車道も整備されており、札幌市や新千歳空港、港湾などに交通アクセスが良く、近隣町村を連携したDMO（観光地域づくり法人）を組織しながら、観光業として農業体験やアイヌ文化などによる交流人口の拡大に力をいれている。

こうした地域特性を踏まえ、農林水産分野における特産物を活用した事業展開を推進するほか、道内有数のアイヌ文化伝承地として、道内、国内、国外からの観光客を誘客を図ることで、雇用の創出や地域全体の付加価値を目指す。

促進区域

北海道平取町

経済的効果の目標

- ・1件あたり45百万円の付加価値額を創出する地域経済牽引事業を2件創出。
- ・これらの地域経済牽引事業が促進区域で1.393倍の波及効果を与え、促進区域で125百万円の付加価値額を創出することを目指す。

地域経済牽引事業の承認要件

【要件1：地域の特性を活用すること】

【地域の特性】平取町のアイヌ文様及び伝統的技法で制作されるアイヌ工芸品等

【活用戦略】成長ものづくり

【要件2：高い付加価値を創出すること】

- ・付加価値増加分：4,458百万円超

【要件3：いずれかの経済的効果が見込まれること】

- ①地域団体商標登録数：2件以上
- ②売上：7%以上増加

制度・事業環境の整備

- ・情報処理の促進のための環境の整備（公共データの民間公開に関する事項等）
- ・事業者からの事業環境整備の提案への対応 等

《促進区域図》



地域経済牽引支援機関

平取町商工会、二風谷民芸組合、一般社団法人ウレシバ

計画期間

計画同意の日（令和3年12月17日）から令和8年度（2026年度）末日まで